

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします(本誌のウェブ・ページで同様の内容を掲載しています)。 (編集部)

■ 2010年12月号

● 超定番のタイマIC555設計者に突撃インタビュー!

p.72右↑7行目: Much Ado Almost Nothing → Much Ado About Almost Nothing

■ 2011年1月号

● 特集

p.67表1 LF356の入力換算雑音電圧密度: 25→12

p.69表1(f): 入力オフセット電圧 [mV] → [μV], OPA333の入力オフセット電圧: 0.01V→10, TLV2460 AIP入力オフセット電圧: 1.7 μV→2200

p.72表2(c): 入力オフセット電圧 [mV] → [μV]

p.75右↓12行目: 切り替わり点の→切り替わり点が

p.79図8 サブキャプション: 共振をふせぐ→共振をダンピングする

p.107図18 サブキャプション文末に追

加: L_1 は2巻き線型

p.111図8, p.112図9~図14: 縦軸の単位 [V] → [-V], 横軸の単位 [A] → [-A]

p.135表1(c)PNPトランジスタ2N3906のコレクタ電流: -200→-0.2

p.138図1 ベース接地: V_{bias} の向きが逆, エミッタ近くの「+」削除, エミッタ接地, コレクタ接地: 図中の「+」削除

P.139図2サブキャプション: Tr_1 の $R_{DS(ON)}$ は負荷電流による電圧降下が0.1V以内におさまる→ Tr_1 は $R_{DS(ON)}$ が負荷電流による電圧降下が0.1V以内におさまるものを選ぶ

P.140右↓5行目: 2個のMOSFETが→MOSFET2個の

p.141右↑2行目: 廃品種→新規設計非推奨

● センサ&計測 教室

p.158図1 キャプション: 文末に(スイッチは割愛)を追加, 表1:(センサ1個あ

たり)→(センサ2個あたり)

p.159右↓4行目: 改造をしなくても, そのまま電池で駆動できます→改造せずに, そのまま電池で駆動しました

p.160右↑5行目:

$$V_{CC} = \frac{n}{2^{24}} V_{CC} \rightarrow G V_{CC} = \frac{n}{2^{24}} V_{CC}$$

● アナログ実験室

p.165写真1内吹き出し: 描画ソフトウェアGNU PLOT→削除

p.171右↑7行目: 予備実験で利用したトランスは, 直流成分や低周波信号が出せないの使えません. →削除

● 自分だけのパソコン計測

p.198左↓3行目: 電流源回路→定電流源回路

p.199図5

